



ハーモザイム

スイートコーン①

宮崎県（2018年）

試験場所：宮崎県宮崎市
品種名：ホワイトレディ
処理：1000倍希釈 開花初期1回散布
調査：7月10日、7月17日

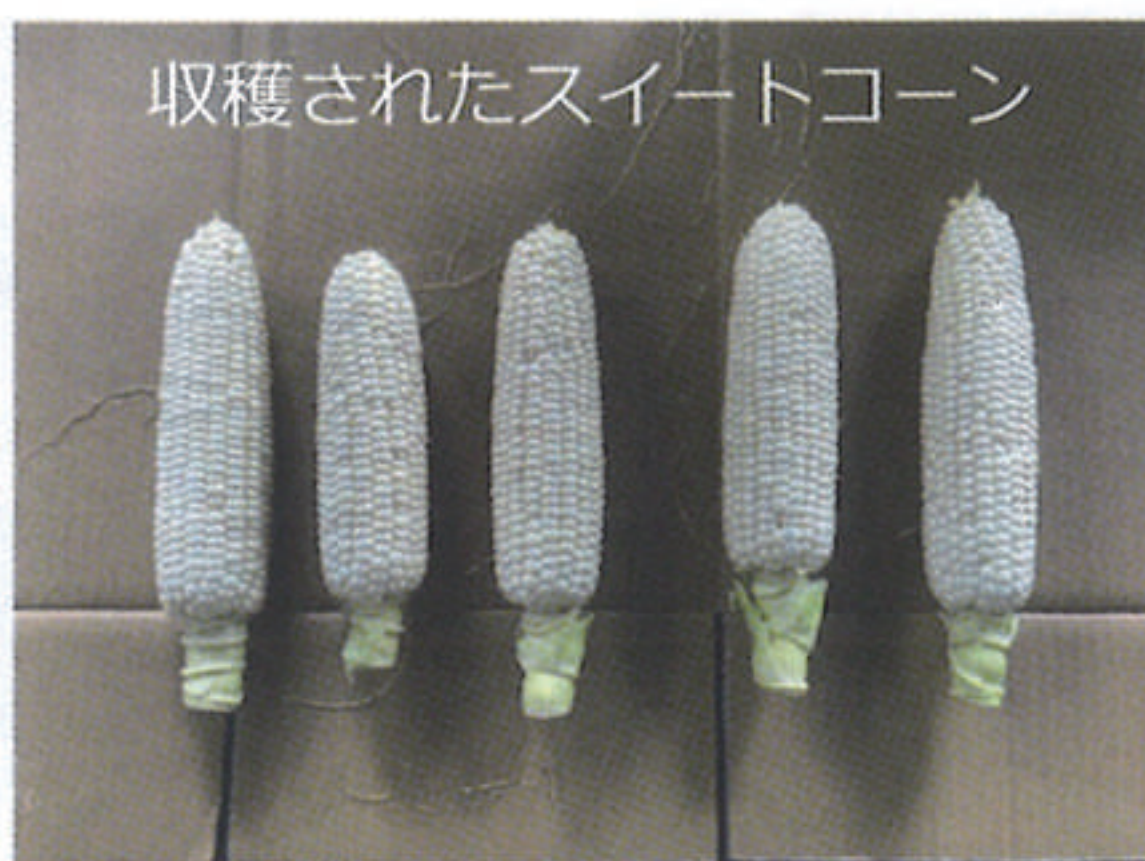
栽培環境：

	播種	散布	調査
試験①	5/3	6/16	7/10
試験②	5/17	6/16	7/17

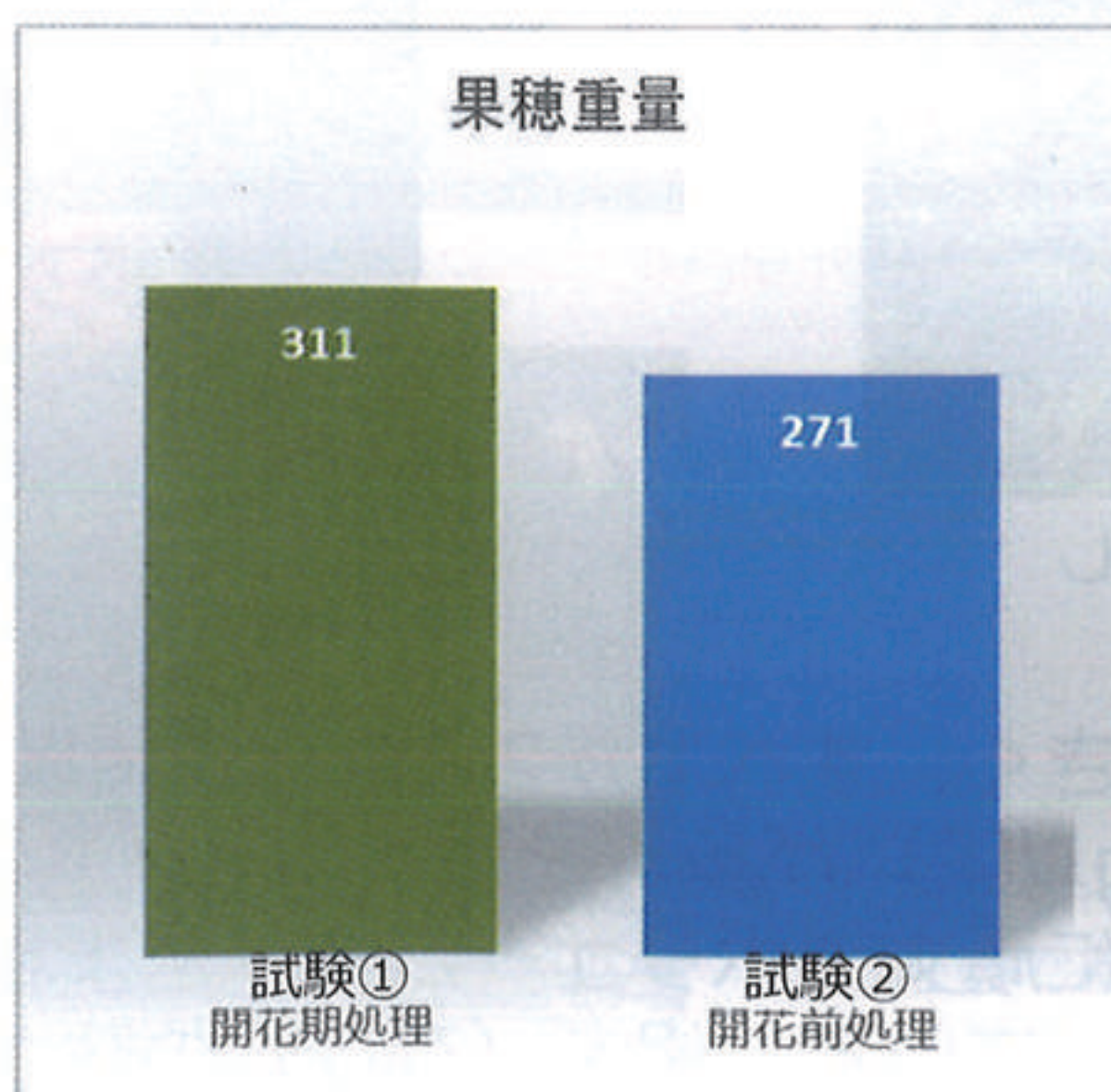
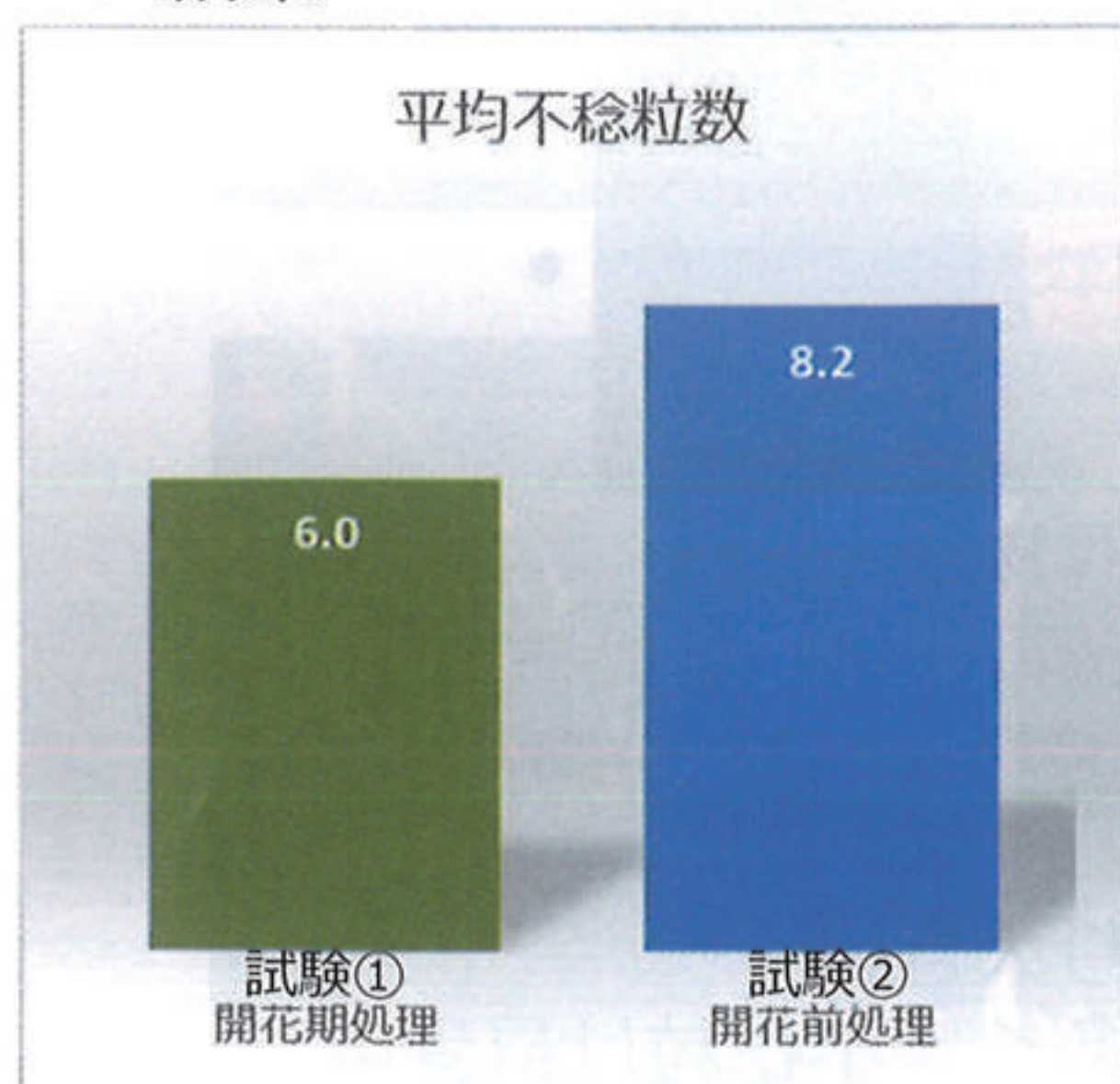
試験結果

● ハーモザイムの散布タイミングを変えた栽培テスト

	散布タイミング	栽培期間
試験①	開花初期	69日
試験②	開花前	62日



● 結果



写真上：先端不稔粒の比較的小さい状態
写真下：典型的な先端不稔

- 開花前施用区②よりも開花初期施用区①の方が、先端不稔粒数が軽減された
- 果穂重量も開花初期散布区①の方が重く、相対的に高品質な果穂が収穫できた



ハーモザイム

スイートコーン②

長野県（2016年）

試験場所：長野県安曇野市

品種名：スペリオルコーングラビス

処理：1000倍希釈 300L/10a 3回散布
7月28日、8月5日、8月12日

栽培環境：

定植

6月

収穫

8月

試験結果

- ハーモザイム散布によるスイートコーンの品質向上



生育中のとうもろこし



収穫物

- 収穫物（雌穂）のサイズが大きく、すべてが2L品（380g以上）
通常の栽培では、L品（380g以下）が多くを占める
- 植物体の勢いが強く、全体的に頑丈でボリュームもひとまわり大きい
- 先端までしっかりと実が詰まっている。絹糸（ひげ）の数も多く、不稔粒は見受けられない。食味、肉質、糖度とも良好。